

令和8年  
2026年

4月14日  
火曜日

第11930号

# 食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日  
第三種郵便物認可

購読料 (前納)  
年間 82,080円  
(税込み)  
6か月 42,120円  
(税込み)

本紙は関連企業・団体との  
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社  
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社  
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10  
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社  
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48  
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局  
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12  
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



プリマハムが「香薫あらびきポーク」新テレビCM記者会見……P4~5

▶「豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針の一部変更」議論—農水省第111回  
……P2

▶25/26年度の穀物生産量は消費量を上回る見込み—USDA報告……P2

▶平均上物率は年々上昇傾向、平均枝肉歩留まり率は、65.6%、JPPA養豚農業実態調査②……P3

▶プリマハムが「香薫あらびきポーク」新テレビCMを20日から放映開始 原菜乃華さんが香薫の特長である“香り”テーマにおいしさ伝える……P4~5

▶生活クラブ、北海道産の赤身牛肉「キタノチカラウシ」をブランディング……P5

▶横浜食肉市場ミート・フェア、名誉賞は塚田牧場、日本精肉店が1万24円で購買……P6

▶JPPAが飼料用米の安定供給について、鈴木農相に要請……P6

▶EUメルコスール貿易協定、5月1日から暫定適用開始(EU)……P7

▶輸入牛内臓相場、ホルムズ海峡封鎖で更なるコスト増や供給懸念強まる、構造的欠乏が加速か……P8

▶ブロンコビリー、朝日ミートを連結子会社化……P9

▶[資料]令和8年度春の連休中の各市場業務日程……P9

▶[東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]13日……P10

▶[各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]13日……P11

## 注目のヘッドライン

### 第111回牛豚等疾病小委、「豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針の一部変更」議論—農水省

農水省は3月31日、第111回牛豚等疾病小委員会を開催し、豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針の一部変更について議論した。

…詳細はP2

### 25/26年度の穀物生産量は消費量を上回る見込み—USDA報告 ……詳細はP2



Nipponham Group  
たんぱく質を、もっと自由に。

食肉施設の設計・施工・コンサルタント

—食肉業界をリードする—



〒110-0016 東京都台東区台東4-20-5  
☎03-3834-1561(代) <https://hanaki-eng.co.jp/>

## 「豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針の一部変更」議論 —農水省第111回牛豚等疾病小委

農水省は3月31日、第111回牛豚等疾病小委員会を開催し、豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針の一部変更について議論した。

会議では、選択的殺処分の導入は、飼養衛生管理の徹底と適時適切なワクチン接種を前程としたものであることから、導入後も引き続きこれらを十分に行うことが重要▷予防的ワクチンについて、現場では接種間隔の短い追加接種は単回接種よりもかえって効果がないとの見解があることから、国としてデータ、知見をさらに集積し、より適切なワクチン接種の方法について提示すべき▷ワクチン接種にあたっては、用法、用量を順守することが基本である▷選択的殺処分の運用に関して、監視プログラム適用農場から子豚を肥育農場に移動させる条件は、繁殖農場と肥育農場との間の移動実態を踏まえて適切に設定すべき▷選択的殺処分の導入後も飼養衛生管理の重要性が変わらないことについて、啓発資料の作成も含めて生産者を始めとする関係者にしっかりと周知すべき一などの意

見があがった。

これらの意見を踏まえ、選択的殺処分の導入に伴う運用において、次のとおり規定し、そのほか技術的な修正を加えることについて了承され、家畜衛生部会に報告することとされた。

ワクチン接種区域内の疑似患畜が確認された場合の殺処分命令の対象となる豚の範囲は、ワクチン免疫が成立していない豚(未接種、接種後20日以内、発育不良)、症状が認められ、PCR検査で陽性となった豚、その他家畜防疫員が必要と判断した豚を想定し、県や国と協議の上決定する。

ワクチン接種区域内の患畜確認後の監視プログラムにおいては、移動制限と毎日の報告徴求により監視すること(原則、患畜の確定から90日が経過し、かつ、消毒が完了した日から28日が経過するまでの期間)、消毒完了後(発生から約3週間後)、症状のない豚等とは畜場への出荷及び子の肥育農場への移動が可能とすることとしている。

## 25 / 26年度の穀物生産量は29億8千万t、消費量29億6千万を上回る見込—USDA報告

農水省がまとめた米国農務省穀物需給報告(現地時9日)によると、2025/26年度の世界の穀物全体の需給は、生産量が298376万t(前年度比4.6%増)、消費量が29億5749万t、(2.9%増)、期末在庫量が8億160万t(3.4%増)を見込んでいる。

品目別にみると、小麦の生産量は8億4415万t(5.6%増)、消費量は8億2012万t(1.3%増)、期末在庫量は2億8312万t(9.3%増)を見込んでいる。

価格は3月に入り、米国の冬小麦生産地域の降雨等を受けて5ドル/bu台半ばまで値を下げたものの、中東情勢や米国の冬小麦生産地域の乾燥懸念等を受けて値を上げ、3月末現在、6ドル/bu台半ばで推移。

とうもろこしの生産量は13億107万t(5.7%増)、消費量は13億255万t(4.2%増)、期末在庫量は2

億99481万t(0.5%減)を見込んでいる。価格は3月に入り、中東情勢への懸念や資材価格高騰による米国産とうもろこしの作付面積減少予等を受けて4ドル/bu台後半まで値を上げたものの、イランへの攻撃延期等を受けて値を下げ、3月末現在、4ドル/bu台半ばで推移。

大豆の生産量は、4億2741万t(0.2%減)、消費量は4億2588万t(3.0%増)、期末在庫量は1億2479万t(0.02%減)を見込んでいる。価格は3月に入り、中東情勢への懸念や中国による米国産大豆購入への期待等を受け12ドル/bu台前半まで値を上げたものの、米中首脳会談延期による中国の米国産大豆の追加購入期待後等を受けて値を下げ、3月末現在、1ドル/bu台後半で推移。

## 平均上物率は年々上昇傾向、平均枝肉歩留まり率は、65・6% JPPA 養豚農業実態調査②

日本養豚協会(JPPA)はこのほど、2025年(令和7年) 養豚農業実態調査報告書を公表(13日付既報)

繁殖成績をみると、1頭当たり平均離乳頭数は10・7頭まで増加。地域別では「東海」が11・5頭で最多。引き続き、多産系母豚や海外ハイブリッド豚の導入や繁殖能力の育種改良の進展があり、繁殖成績は上昇傾向。年間1母豚当たり離乳頭数を計算すると24・6頭となっている。

肉豚の評価・上物率・相対取引については、「肉豚の評価を実施している」経営体は93・8%で、のうち「日格協の格付」は86・2%、「独自の評価基準」は23・4%となった。平均上物率は、「九州・沖縄」の66・1%が最多。時系列比較では平均上物率は年々上昇傾向にある。平均枝肉歩留まり率は、65・6%と前年と同じとなった。

「相対取引を実施している」との回答は、44・9%。前年度と比較すると0・2ポイント増加した。契約枝重下限の平均は68・2kg、契約枝重上限では86・8kgとなった。

ベンチマーチングシステム(自農場の育成率や繁殖・肥育成績などを継続して記録し、経営状況を把握する手法)については、「参加している」が33・0%、「参加していない」が67・0%。前年度と比較すると「参加している」が1・9ポイント減少した地域別にみると、「参加している」は「北海道」で多く、「参加していない」は「東北」「近畿」「中国・四国」で多い。規模別にみると、子取り用雌豚の飼養規模別「500頭以上」の上位2階層では「参加している」が46・9～58・0%と多い。参加していない理由として、「経営状態にそぐわない」「必要ない・興味がない」「時間/予算がない・手間がかかる・人手不足」などのコメントが挙げられた。

養豚管理ソフトの使用率は38・5%となっている。地域別でみると「北海道」「東北」で高い利用率。また、規模別でみると頭数が多いほど高い利用率となった。グループ生産システムの導入率は14・7%となっており、うち6割が「スリーセブン」方式を採用している。また、導入経営体の8割以上が「オールイン・オールアウトが可能」であることを導入メリットであると回答している。

平均枝肉歩留まり率 全国時系列比較(N=291)

	N=	年間平均枝肉歩留まり率
2025	291	65.6
2024	301	65.6
2023	393	65.5
2022	393	66.1
2021	466	64.5

平均枝肉歩留まり率 地域別(N=291)

	N=	年間平均枝肉歩留まり率
全国	291	65.6
北海道	23	64.5
東北	57	65.6
関東	72	66.1
北陸	15	65.9
東海	43	66.1
近畿	4	69.3
中国・四国	16	64.7
九州・沖縄	61	65.1

スマート機器の活用は17・4%となっている。地域別でみると「北海道」で活用している経営体が多く、規模別にみると最大規模の「1千頭～」で4割以上が活用していると回答。活用しているスマート機器は、「自動給餌機」「飼料タンク残量確認装置」「自動環境制御装置」「オートソーター」の順となっている。

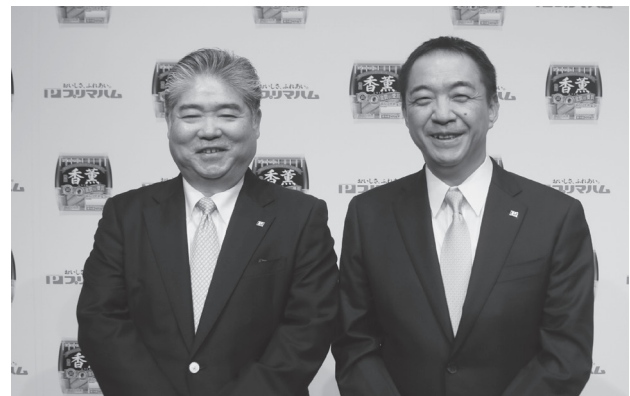
暑熱対策は、「活用している」が54・7%となっている。地域別では「北海道」「東北」では「活用していない」がそれぞれ72・4%、61・7%となっている。活用している機器は、多い順から「クーリングパッド」「細霧装置」「送風機」「ドリップクーラー」となっている。(連載続く)

## プリマハムが「香薫あらびきポーク」新テレビCMを20日から放映開始 原菜乃華さんが香薫の特長である“香り”テーマにおいしさ伝える

プリマハムは20日から、同社の看板商品である「香薫あらびきポーク」について、特長である“香り”をテーマに、おいしさを伝える新テレビCMを全国で順次放映開始する。新CMには、俳優の原菜乃華さんが登場。(上写真)「君に会いたかったよ、香薫!」と愛おしそうに語り掛ける印象的なシーンから始まる。焼き上がりの香ばしさ、「薫り」に思わず表情がほころぶ様子や、一口食べた瞬間に「香り」が広がり、自然と笑顔がこぼれるシーンを通して、香薫あらびきポークウインナーの“香り高さ”や“口いっぱい広がるおいしさ”を表現。さらにCM内で流れる原さんによる“香薫ソング”も愛らしい仕上がりとなっており、自然と口ずさみたくなるシーンにも注目だ。また、こんがり焼き上がるシズル感やジューシーな断面のアップなど、思わず食欲をそそるカットを随所に盛り込み、画面越しでも香りやおいしさが伝わるように仕上げている。

放映開始に先立ち、13日には東京で新テレビCMの発表会が行われた。千葉尚登会長(下写真左)は「香薫は当社を代表する商品であり、2002年の発売以来、まもなく25年を迎える。特に12年以降は毎年伸長し、25年度は発売当初の約7倍にまで増えており、業界でもかなり目立つ商品になっている。コロナや円安などさまざまな情勢が変化中、当社としては価格改定を行いながらも数量を増やしてきてくれた。その背景には、販売促進の効果も大きく寄与している」と述べた。さらに「さまざまな方に香薫の特徴についてきいたところ、機能面では『おいしさ・品質と価格のバランスが良い』、情緒面では店頭やCMでよくみかける、どこでも買うことのできる『いつも通りの日常という信頼感』が上がり、おいしさ・価格・信頼の“コア価値”で選ばれていることが分かった。26年度は“香薫のコア価値”を改めて皆さまにお伝えし、香薫のファンであるロイヤルカスタマーを増やしていく」と説明。その上で「11種類のスパイスを使用した味わい豊かな内なる“香り”と桜をスモーク材に使用した食欲をそそる外からの“薫り”。商品名にある通り、“二つのかおり”が香薫の特長であり、それこそが他社製品との違いであると考えている」とした。

さらにロイヤリティ向上のための重要な要素につい



て「中立ユーザー」と「ロイヤルユーザー」に分け、各ユーザーが香薫に抱いている印象を分析したところ、「ロイヤルユーザーに顕著な“かおりが良いこと”を訴求することが、中立ユーザーのロイヤルティを向上させるのに最も効果的であり、香薫のもつ“ジューシーさ”“コスパの良さ”は、今後も外せない要素であると判断。26年度の新CMは開封時、調理時、喫食時の一連の流れで“かおり”を訴求し、『かおりの良さ=おいしさ』であることを認識してもらう」と紹介。また、原さんを起用した理由について、「明るく元気で親しみやすく、フレッシュ感のあるイメージが、当社の企業イメージにも合うと考えており、さまざまな作品での素晴らし

い演技力、そして高い知名度と人気をもつ原さんにご出演いただいた」と期待を寄せた。

続いてゲストとして原さんがCM撮影時と同じ衣装で登場。香薫のパッケージをイメージしたロングスカートを披露した。家族そろって永年にわたり香薫ファンだという原さんは「幼い頃からずっと食べてきた商品なので、今回CMに出演させていただき、すごくうれしかったし、何よりも母がとても喜んでくれた」とコメント。撮影現場では「すごくおいしいので必要以上に食べてしまったが、最初から最後まで全部おいしく食べることができ、さすが“香薫”だと思った」と振り返った。また、CMのみどころとして「CM中に流れている香薫のテーマ曲も私が歌っているの、ぜひ耳を澄ませてきいていただければ」とはにかんだ。さらに香薫を食べたいシチュエーションについて「ピクニックなど、外で食べると楽しいひと時になると思う。わが家は以前から香薫派であり、運動会ではタッパーいっぱい詰められた香薫がすごく印象に残っている」とエピソードを披露した。その後、プリマハムがおすすめする香薫の食べ方として、原さんがフライパンでの“王道炒め”を

披露し、千葉会長が実際に試食。絶賛を受け、見事合格となった(左頁中央写真)。さらに「香薫マスター」を目指し、香薫にまつわるさまざまなクイズに挑戦し、見事全問正解を果たし、香薫ファンぶりを見せつけた。

発表会終了後には千葉会長と阿部社長(左頁下写真右)が個別取材に応じた。千葉社長は香薫の今後の販売戦略について、「おかげさまで多くのお客さまが楽しみにしていただいております、キャンペーン等は引き続き継続する。その上で拡大していくためには、ウイナー市場に新たな食シーンを開拓していくことが重要。例えば朝食以外のシーンやハム・ソーセージ以外の売り場への訴求等も含めてさまざまな提案を行っていききたい。それを牽引していくのが香薫」と話した。また、阿部社長は「素晴らしい商品として評価いただいている香薫の勢いを引き続き伸ばしていき、確かなものをお客さまに届けていきたい。当社は食品メーカーであり、やはり一番は多くのお客さまに食べていただき、喜んでいただくことが私たちの力にもなる」と力を込めた。

## 生活クラブ、北海道産の赤身牛肉「キタノチカラウシ」をブランディング

生活クラブ事業連合生活協同組合連合会(東京都新宿区、村上彰一会長)は、提携生産者、北海道チクレン農業協同組合連合会が生産する北海道産の赤身牛肉を、利用拡大と認知度向上のためにブランディングする。新名称は「キタノチカラウシ」。

生活クラブが取り扱う牛肉は、北海道の肥育農家が育てるホルスタイン(乳用種)のオス牛。粗飼料と濃厚飼料をバランス良く与えた健康的な赤身肉に育てているので、ほどよく引き締まり、うまみもしっかり感じられる牛肉となっている。生活クラブは、特別なハレの日だけでなく、普段の食卓から食べて日々の活力にしたい、そして食べ続けることで国内での生産を持続可能なものにしていききたい、という思いから「キタノチカラウシ」と命名した。

キタノチカラウシの特長は、北海道チクレン農業協同組合連合会が牧草などの粗飼料を主体にした飼料で牛を飼育。その他、飼料用米や遺伝子組み換えの混入を防ぐために分別したトウモロコシなどをバランス良く配合し、生後10カ月以降は抗菌性物質を使わずに育てる。

また、粗飼料と飼料用米は100%北海道産となっており、粗飼料は基本的に生産者自身が栽培し、一年を通して確保できるよう努めている。

今回のブランディングにあわせてレシピコンテスト「みんなのうちからチカラウシ」を開催(応募は6月30日まで。受賞レシピ発表は2026年11月頃を予定)。

テーマは、牛肉の“ふだんづかい”。いつもの食卓で楽しんでいる工夫や、家族に人気の一品など、生活クラブの組合員自身の定番レシピを募集する。応募されたレシピは、各地の生活クラブ組合員が投票し、最優秀レシピ3つを選出する。

また生産者、北海道チクレンによるチクレン賞も選出し、合計4名の受賞者には生活クラブのギフトで大人気の「牛肉バラエティセット」をプレゼントする。

各賞の受賞レシピは、プロのフードコーディネーターが再現し、プロのカメラマンが撮影、生活クラブの公式レシピとして登録する。

注文用カタログや、レシピサイト「ビオサポレシピサイト」で紹介するほか、レシピブックとしてさまざまに活用される予定。

## 横浜食肉市場ミート・フェア 名誉賞は塚田牧場、日本精肉店が1万24円で購買



横浜食肉市場(株)は10日、「第38回横浜食肉市場ミート・フェア」を開催した。

第1部(交雑牛)には50頭(雌35頭、去勢15頭)、第2部(黒毛和牛)には102頭(雌40頭、去勢62頭)の合計152頭が出場し、厳選なる審査の結果、名誉賞には埼玉県(株)塚田牧場(谷口良和社長＝上写真左)が出品した黒毛和牛去勢牛が輝いた。

名誉賞牛は父「福之姫」、母の父「安福久」。枝肉重量637kg、格付はA5、BMSNo.12、ロース芯面積118cm<sup>2</sup>、歩留まり基準値82.0%、31カ月齢という、肉質量ともに揃った枝肉で、(株)日本精肉店(内山敬雄社長＝同中央)が単価1万24円で購買した。生産者の塚田牧場は8農場で黒毛和牛約2500頭を肥育している。

同フェアでの名誉賞受賞は初めて。農場を担当している雄彬氏(同右)は谷口社長の次男。16歳で就農

し、今年で5年目になる。初めての大きな賞であり「うれしいが、まだ全然実感がわからない。この牛は栃木県の矢板市場から導入、飼料を最後まで食べ続け、生体はお尻やモモがぷりっとしていて形が良かった。重量もあり心配したが、従業員がこまめに見てくれたおかげだ」と喜びを語った。

交雑種の最優秀賞には茨城県の横浜第一肉牛出荷組合(有)和洋茨城牧場が出品した雌牛(父「北美津久」、格付A5、BMSNo.11、枝肉重量569kg、ロース芯面積83cm<sup>2</sup>、歩留まり基準値74.3%、24カ月齢)が選ばれ、(株)L横浜センターがキロあたり2503円で購買。

黒毛和牛の最優秀賞には、島根県の(株)松永牧場が出品した去勢牛(父「福之鶴」、母の父「安福久」、A5、No.12、562kg、93cm<sup>2</sup>、79.1%、29カ月齢)が選ばれ、(株)コーシンが5005円で購買した。そのほか、上位入賞牛の出品者(牛成績、購買者)は次のとおり。格付は全てA5。

[第1部(交雑種)]優秀賞 群馬県・横浜第一肉牛出荷組合 (株)奥軽井沢ファーム(雌、BMSNo.11、枝肉重量556kg、ロース芯面積111cm<sup>2</sup>、歩留まり基準値79.0、単価2205円、購買者＝L横浜センター)

[第2部(黒毛和牛)]優秀賞 群馬県・新和農産(雌、No.12、610kg、4002円、マルトミ)

## JPPA が飼料用米の安定供給について、鈴木農相に要請

日本養豚協会(JPPA)は13日、飼料用米の安定供給について鈴木憲和農水大臣に要請を行った。

JPPAは、用米を重要な国産濃厚飼料として政策に位置付け、水田政策の見直しにおいては飼料用米の生産および利用への支援が強化されるよう要請した。

これを受け、鈴木農相は「この1～2年の食用の米の値段の高騰によって飼料用米の生産に影響があるということでご苦労されていることは認識している。米を食べた豚がしっかりと地域のブランドとして根付いており、また肉質も良くなるなど、耕畜連携の良い循環を構築している。養豚の関係者や米の生産者側との結びつきを強めていけるように水田活用の見直しをしつ



かり行っていきたい」と述べた。

## EU メルコスール貿易協定、5月1日から暫定適用開始 (EU)

欧州委員会は3月23日、メルコスールとの暫定貿易協定(iTA)の暫定適用に向けた手続きが完了し、5月1日から暫定適用されると公表した。これにより、EU内で批准手続きが行われている包括的パートナーシップ協定(EMPA)のうち、関税削減や投資促進などに関する通商部分が先行して適用されることとなる。

EUとメルコスール間の協定締結は24年12月に合意され、EU農業部門からの強い反発を受ける中、1月17日にEMPAとiTAの署名がなされた。署名後の1月21日、欧州議会はiTAとEU条約との適合性の審査をEU司法裁判所に求め、その結果が出るまでiTA同意に関わる採決を延期するとした。EU司法裁判所での審査には通常、1年半から2年程度を要するため、適用開始の遅延が懸念されていたが、今回、欧州委員会は欧州議会の同意を待たず、暫定適用の開始に踏み切った。この背景には、地政学的な不確実性が高まる中で、早期に貿易やサプライチェーンの多角化などを図りたいとの思惑があるとみられる。

EUは、両協定において、牛肉、豚肉、家禽肉、砂糖などをセンシティブ品目とし、市場開放を限定的とした。牛肉、豚肉(加工品を含む)、家禽肉(加工品を含む)については下表の通り低関税または無税の割当数量を設定する。欧州委員会は、今回設定された関税割当数量は24年のメルコスールからの輸入量を下回る水準であるとしている。牛肉の関税割当数量9万9千tは、24年の輸入量20万6千t(枝肉重量ベース)の約2分の1、家禽肉(加工品を含む)の関税割当数量18万tは、同29万3千tの約6割の水準である。

協定により関税削減の対象となった製品についてはセーフガードの対象となるが、センシティブ品目に関しては、次のような厳密なセーフガード発動条件が設定される。メルコスール製品の輸入価格がEUの同一または競合製品と比較して少なくとも5%低く、かつ(1)メルコスール製品の特恵条件による輸入量が3年平均から5%以上増加した場合、または(2)同条件下でのメルコスール製品の輸入価格が3年平均から5%以上下落した場合に、セーフガード措置の発動が必要か調査を開始する。なお、この発動基準は、

農業部門からの反発に配慮し、当初提案から引き下げられた。また、センシティブ品目に関しては、調査開始から21日以内に暫定セーフガード措置がとられる。他方、両協定による農業部門のメリットとしては、(1)メルコスール向けの輸出手続きの簡素化(2)オリーブオイル、ワイン、チョコレートなどのEU製品の関税撤廃や一部の乳製品(チーズ3万t・粉乳1万tなど)の無税枠設定による輸出拡大(3)EUの地理的表示(GI)の保護によるメルコスール市場での模倣品流通の防止—が挙げられている。

欧州農業組織委員会・欧州農業協同組合委員会(Copa-Cogeca)は、今回の暫定適用について、農業部門の長年の懸念を無視するものと非難した。同団体は、「メルコスール諸国は、EU域内のアニマルウェルフェアや持続可能性の生産基準を満たしておらず、労働・安全基準も低く低コストでの生産が可能となっており、EUの生産者にとって不公平な競争となる」と、当初から同協定に強く反発している。EU家禽加工業者・貿易協会(AVEC)は、1月9日のEU理事会による署名承認時に声明を発し、すでにEUで消費される鶏ムネ肉の25%が域外産であり、同協定による関税割当の設定はEUの鶏肉産業に悪影響を及ぼすとしている。一方、欧州乳製品輸出入・販売業者連合(Eucolait)は、今回の暫定適用を「開放的でルールに基づく貿易を支持する強力なメッセージ」と歓迎し、「乳製品業界にとって新たな機会を創出するもの」と評価した。(農畜産業振興機構)

表 肉類の関税割当枠内税率と数量

(単位:トン)

	枠内税率	割当数量					
		発効年	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後以降
牛肉		16,500	33,000	49,500	66,000	82,500	99,000
冷蔵	7.5%	9,075	18,150	27,225	36,300	45,375	54,450
冷凍	7.5%	7,425	14,850	22,275	29,700	37,125	44,550
豚肉	83ユーロ/t	4,167	8,333	12,500	16,667	20,833	25,000
家禽肉		30,000	60,000	90,000	120,000	150,000	180,000
骨なし	無税	15,000	30,000	45,000	60,000	75,000	90,000
骨付き	無税	15,000	30,000	45,000	60,000	75,000	90,000

注1:数量はすべて枝肉重量ベース

注2:豚肉には、冷蔵、冷凍、豚肉加工品を含む

注3:家禽肉の骨なしには、家禽肉加工品を含む

## 輸入牛内臓相場、ホルムズ海峡封鎖で更なるコスト増や供給懸念強まる 構造的欠乏が加速か

ゴールデンウィーク(GW)の最需要期を前に、国際情勢の緊迫化、不透明感が一段と増し、不穏な状況となっている。日曜日に米国によるホルムズ海峡の「逆封鎖」という報道を受け、エネルギー価格の高騰と円安のさらなる加速が確実視される中、国内卸価格は「高値維持」から、地政学リスクの高まりによる「先行き不透明感からの先回り買い」の動きが一段と加速すると見られる。現在の市場は単なる一時的な品薄ではなく米国産牛の飼養頭数は70年ぶりの低水準にあり、パッカーの減産による供給能力の減退は構造的なものとなっている。ここにホルムズ海峡の緊張による燃油サーチャージの急騰と、1ドル160円台を伺う円安が追い打ちをかけている。

そうした中、個別アイテムの状況を見ていくと主要焼き材では米国産ムキタンが、キロあたり5千円台後半から6千円の大台をうかがう形。現地のオファー価格は、燃料コストの上乗せにより過去最高値を更新し続けている。国内在庫は枯渇しており、大手チェーンによる玉の奪い合いは続く。アウトサイドスカートについても卸価格はキロ4千円近くまで上昇し、強含みの展開。チルド玉の減少を踏まえてフローズン価格も下値が継続的に切り上がっており、夏場に向けて当面高値圏での推移が続きそうだ。ハンギングテンダーも、アウトの代替需要が集中し、キロあたり2千円中盤〜で推移。ただ、海峡封鎖による物流混

	商品名	原産地	規格	価格	気配
フローズン	牛タン	米国		3500~	↑
		豪州		3000~	↑
		欧州		3000~	↑
	ハンギングテンダー (サガリ)	米国	チョイス プライム	2200~	品薄
		メキシコ		2000~	→
	アウトサイドスカート(ハラミ)	米国	チョイス プライム	—	品薄
		メキシコ		—	→
	シンスカート、シックスカート	豪州	バルク	1200~	→
	シンスカート(皮なし)	豪州		1500~	→
	レバー	豪州		320~	→
		米国		350~	→
	トライブ		1.5UP	—	→
		豪州	700gUP 500gUP	—	→
	スモール	米国		800~	品薄
	ラージ	米国		850~1000	↑
	豪州		850~	↑	
アキレス	米国		1000	↑	
テール	豪州		1800	品薄	
メンブレン	豪州		500~600	→	
<b>【チルド】</b>					
チルド	牛タン	米国	グレイン	3800~4200	↑
		豪州		3500~	↑
	牛タン(ムキタン)	米国		5400~	↑
		豪州		—	→
	ハンギングテンダー (サガリ)	米国	チョイス プライム	2500~2800	↑
				2800~	品薄
アウトサイドスカート(ハラミ)	米国	チョイス プライム	3800~4500	↑	
			—	品薄	
	メキシコ		—	→	

乱の懸念や、相対的な値頃感からもさらに引き合いは強まりそう。

そのほか、シンスカートは、ハラミの代替品や加工原料としての「戦略商材」へと変貌。コスト抑制に苦慮する外食事業者らかの引き合いも強い。また、現物の欠乏以上に国内物流面の懸念も無視できない。トラックの手配などの従来の問題に燃料高騰が加わることで配送コストの増大も確実視される。海峡封鎖が長期化すれば、GW明けの在庫確保の動きも実需を無視して活発化すると思われ、不透明な状況が続く。

## ブロンコビリー、朝日ミートを連結子会社化

(株)ブロンコビリーは10日、(株)朝日ミート(山口県、金山裕昭代表取締役)の全株式を取得し、子会社化すると発表した。今回連結子会社化する(株)朝日ミートは山口県において食肉加工および食肉総菜の製造・販売を事業としており、ブロンコビリー業態の西日本店舗へ商品を製造・供給する拠点となる。さらに、ステーキ業態全体を含むグループの全業態(トンカツ、居酒屋

屋業態)向け開発商品の製造・供給に取り組むとともに、朝日ミート自体の外部との取引も強化する狙い。今後拡大していく自社工場、子会社の松屋栄食品本舗と合わせて、商品開発から商品の製造の基盤を強固にし、同グループ一層の成長を目指すとしている。これによるグループ連結業績に与える影響は軽微としているが、業績見通しについては現在精査中。

[資料]

令和8年度春の連休中の各市場業務日程

公益社団法人 日本食肉市場卸売協会

市場名	と畜業務														市場業務														備考							
	4月					5月							4月					5月																		
	26日	27月	28火	29水	30木	1金	2土	3日	4月	5火	6水	7木	26日	27月	28火	29水	30木	1金	2土	3日	4月	5火	6水	7木												
仙台	休	○	○	休	○	休	休	休	休	休	○	○	休	○	○	休	休	休	休	休	休	△	○													
茨城	休	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	○	休	○	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休												
栃木	休	○	○	○	○	○	休	休	休	休	○	○	休	○	○	○	○	○	△	休	休	休	○	○												
群馬	休	○	○	○	○	○	休	休	休	休	○	○	休	○	○	○	○	○	○	休	休	休	休	○	牛のみ変更の可能性あり											
さいたま	休	○	○	休	○	○	休	休	休	休	○	○	休	○	○	休	休	休	休	休	休	休	○	○												
川口	休	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	休	○	○	休	△	△	休	休	休	休	休	△												
東京	休	○	○	休	○	○	休	休	休	休	休	○	休	○	○	休	○	○	○	休	休	休	休	○	5/2豚のみセリ、5/7牛のみセリ											
横浜	休	○	○	休	○	休	休	休	休	休	休	○	休	○	○	休	○	○	休	休	休	休	休	△												
山梨	休	○	○	休	○	○	休	休	休	休	○	○	休	△	○	休	○	△	休	休	休	休	休	○												
浜松	休	○	○	○	○	○	休	休	休	休	○	○	休	○	△	△	△	△	休	休	○	休	休	△												
岐阜	休	○	○	○	○	休	休	休	休	○	○	○	休	○	○	△	○	○	休	休	休	△	○	○												
飛騨	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	休	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休												
名古屋	休	○	○	休	○	○	休	休	休	休	○	○	休	○	○	休	○	○	休	休	休	休	休	△	○											
東三河	休	○	○	休	○	○	休	休	休	休	○	○	休	○	○	休	○	○	休	休	休	休	休	○	○											
四日市	休	○	○	休	○	○	休	休	休	休	○	○	休	△	△	休	○	△	△	休	休	休	休	△	△	5/2出庫業務のみ										
京都	休	○	○	休	○	○	休	休	休	休	休	○	休	○	○	休	○	○	○	休	休	休	休	休	△	5/2相対取引のみ										
大阪	休	○	○	休	○	休	休	休	休	休	○	○	休	○	○	休	○	○	休	休	休	休	休	△	○											
神戸	休	○	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	休	○	○	休	△	△	休	休	休	休	休	休	○											
姫路	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	休	△	△	休	△	△	休	休	休	休	休	休	△											
加古川	休	○	○	休	○	○	休	休	休	休	休	○	休	△	○	休	△	○	休	休	休	休	休	休	△											
西宮	休	○	○	休	○	○	休	休	休	休	○	○	休	△	△	休	△	△	休	休	休	休	休	休	△											
岡山	休	○	○	休	○	○	休	休	休	休	休	○	休	○	○	休	○	○	休	休	休	休	休	休	○	5/1豚のみと畜										
坂出	休	○	○	休	○	○	休	休	休	休	休	○	休	△	△	休	△	△	休	休	休	休	休	休	△											
高松	休	○	○	休	○	○	休	休	休	休	休	○	休	△	△	休	△	△	休	休	休	休	休	休	△											
広島	休	○	○	休	○	○	休	休	休	休	休	○	休	○	○	休	○	○	休	休	休	休	休	休	○											
福岡	休	○	○	休	○	休	休	休	休	休	休	○	休	○	○	休	○	○	休	休	休	休	休	休	○											
佐世保	休	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	○	休	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	○											
市場協会													休	△	△	休	△	△	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	△	事務局業務

※市場業務:セリあり・・・「○」、セリはないがその他の市場業務あり・・・「△」

# 東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 4月13日  
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	4,901	2,758	-	-	-
		安値	2,483	2,377	-	-	-
		平均	3,022	2,513	2,487	-	-
		頭数	209	9	1	-	-
		219頭					
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
		頭数	-	-	-	-	-
		-頭					
	去 A	高値	2,978	2,584	-	-	-
		安値	2,503	2,488	-	-	-
平均		2,681	2,554	-	-	-	
頭数		51	5	-	-	-	
56頭							
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
	頭数	-	-	-	-	-	
	-頭						
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	1,919	1,831	1,810	1,751	-
		頭数	1	12	9	3	-
	雌 C	平均	-	-	1,731	1,622	-
		頭数	-	-	2	1	-
	去 B	平均	1,833	1,835	1,820	1,718	-
		頭数	1	8	3	1	-
	去 C	平均	-	-	-	-	-
		頭数	-	-	-	-	-

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜	408	941	-	(競り)	(相対)	
売買	396	758	288.0	-	8	54

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,549	1,938	1,843	1,777	-
	B	-	-	1,847	1,664	1,312
和 去	A	2,634	2,487	1,944	-	-
	B	-	-	-	1,787	-
乳 雌	B	-	-	-	849	1,185
	C	-	-	-	1,233	1,133
乳 去	B	-	-	-	1,350	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	1,861	1,785	1,730	1,620	-
	C	-	-	1,611	-	-
交 去	B	1,984	1,820	1,786	1,687	-
	C	-	1,781	1,734	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	-	853	866	865	821
	安値	-	648	613	464	238
	平均	702	677	656	648	495
	頭数	( 1)	( 259)	( 253)	( 128)	( 117)
搬入競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	頭数	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
搬入相対	高値	-	-	752	719	-
	安値	-	-	731	710	-
	平均	-	-	737	713	-
頭数	( -)	( -)	( 5)	( 3)	( -)	

[大阪食肉卸売市場] 4月13日  
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [ ]は豚規格

	5 [極上]	4 [上]	3 [中]	2 [並]	1 [等外]
和 雌 A	2,673	2,557	2,366	-	-
(頭数)	( 5)	( 3)	( 1)	( -)	( -)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
和 去 A	2,680	2,526	-	-	-
(頭数)	( 2)	( 3)	( -)	( -)	( -)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,945	1,828	1,741	-
C	-	-	1,793	-	-
交雑去 B	2,063	1,933	1,840	-	-
C	-	1,880	1,815	1,740	-
豚	-	791	760	646	478

[全国と畜概算頭数]  
農水省統計部発表 (頭)

	4月13日	4月10日	(4月累計)
豚	63,200	58,400	541,200
成牛計	4,870	4,460	39,240
和牛雌	1,010	1,230	9,620
和牛去勢	1,600	940	11,060
乳牛雌	500	640	5,910
乳牛去勢	470	320	3,580
交雑雌	500	670	4,450
交雑去	780	660	4,600

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 4月13日

東京	1,735 円	(前日 1,763 円)
大阪	1,840 円	(前日 1,826 円)

[豚・全農建値] 4月13日

上	中	取引頭数	市況
694 円	668 円	1,058 頭	急落

と畜	牛 107 頭	豚 - 頭	牛概況	もちあい
売買	牛 59 頭	豚 126 頭	豚概況	まちまち

# 各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 4月13日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	702 (702)	- (-)	4,226	-	もちあい
仙台 [中]	712 (731)	675 (670)	438	128	反落
栃木 [地]	- (765)	673 (723)	1,688	13	-
茨城 [地]	716 (720)	698 (694)	1,126	511	続落
群馬 [地]	727 (712)	699 (607)	2,035	1,516	小反発
さいたま [中]	681 (710)	670 (701)	218	212	下押し
東京 [中]	677 (729)	656 (697)	941	758	急落
横浜 [中]	725 (738)	680 (689)	660	661	下落
山梨 [地]	- (-)	- (-)	113	40	休市
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	-
名古屋 [中]	793 (767)	756 (734)	854	136	反発
京都 [中]	710 (656)	650 (672)	102	91	もちあい
大阪 [中]	791 (-)	760 (-)	-	126	まちまち
神戸 [中]	- (726)	- (717)	136	-	-
岡山 [地]	713 (680)	714 (676)	224	312	反発
広島 [中]	723 (-)	692 (-)	299	87	急落
福岡 [中]	706 (702)	689 (668)	575	122	反発

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 4月6日～4月12日  
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,414,272 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,188	1,242	1,372	1,253	62,651
うで	768	823	907	832	115,738
ロース	1,123	1,193	1,274	1,204	120,027
ばら	1,246	1,326	1,382	1,314	132,585
もも	807	849	877	852	171,137
ヒレ	1,188	1,200	1,263	1,204	18,249
セット	1,062	1,090	1,101	1,085	793,885

◇近畿圏 総重量 701,661 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,274	1,421	1,467	1,393	58,860
うで	794	810	842	813	113,957
ロース	1,188	1,242	1,322	1,258	95,430
ばら	1,313	1,378	1,473	1,383	123,326
もも	804	838	864	832	159,846
ヒレ	1,220	1,317	1,391	1,313	10,965
セット	1,036	1,083	1,227	1,102	139,277

[食鳥正肉日経相場] 4月10日  
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	742	834	1,020	173
ムネ	424	496	657	154

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	765	848	1,050	3
ムネ	438	498	610	3

[農水省統計情報部食鳥市況] 4月10日  
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	1,077	690	550	600	650
安値	785	460	290	360	350
平均	844	519	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間(1週間分)に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ(単価・重量)を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値(加重平均値)。

食肉業界紙のパイオニア

# 食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

### 業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

### 畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

### 食肉販売&経営関連

## 銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

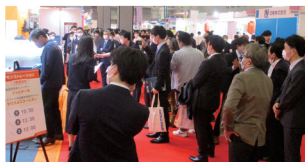
## 銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

### イベント

### 国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



## 食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

## 週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、フランクセット判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

## 日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

## 月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々々の最も話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

### 教材&レポート等

### あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

平野正男 著 鏡 晃 A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

### ~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ

### 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

### 職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版

### 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

### 知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

### ステーションナリー

## 食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します

お申し込みは電話かFAXで  
お近くの食肉通信社まで

# 株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995